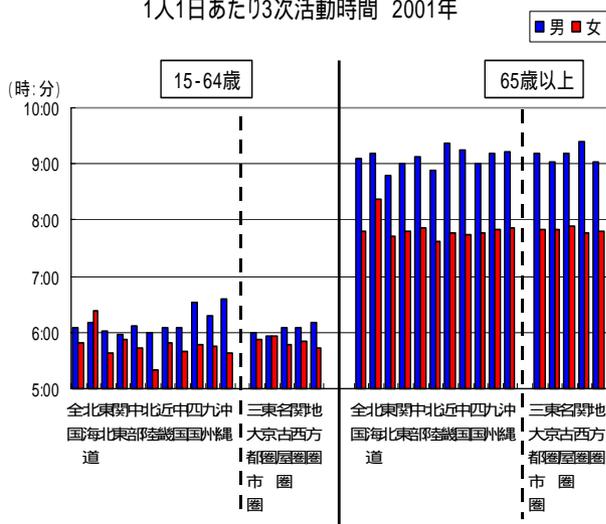


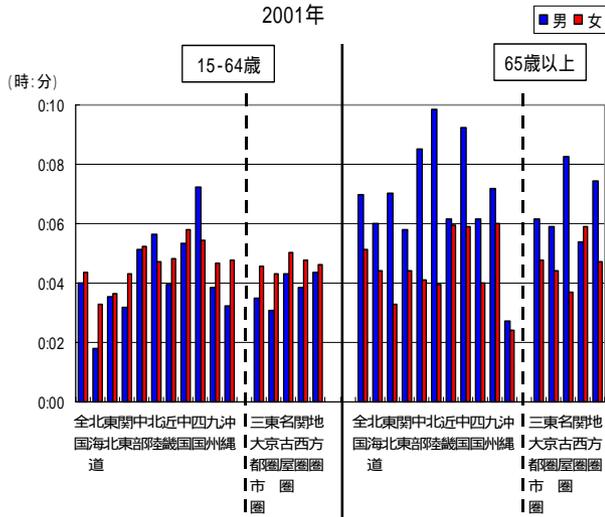
指標：1人1日あたり3次活動時間、ボランティア活動・社会参加活動時間  
 (男女年齢別、ブロック・圏域別)

自由になる3次活動時間は、概ね男性が女性を上回り、その傾向は65歳以上で特に顕著。地域別には、北海道及び北陸の女性を除いて大きな特徴はみられない。ボランティア活動・社会参加活動時間については、15-64歳では女性が長く、65歳以上では男性の方が長くなっている。地域別には、ばらつきがみられる。

1人1日あたり3次活動時間 2001年



1人1日あたりボランティア活動・社会参加活動時間  
 2001年



(出典) 、 いずれも総務省統計局「平成13年社会生活基本調査」をもとに作成。

(注) 3次活動は、移動(「通勤・通学」を除く)、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・研究(「学業」以外)、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・つきあい、受診・療養、その他の合計。